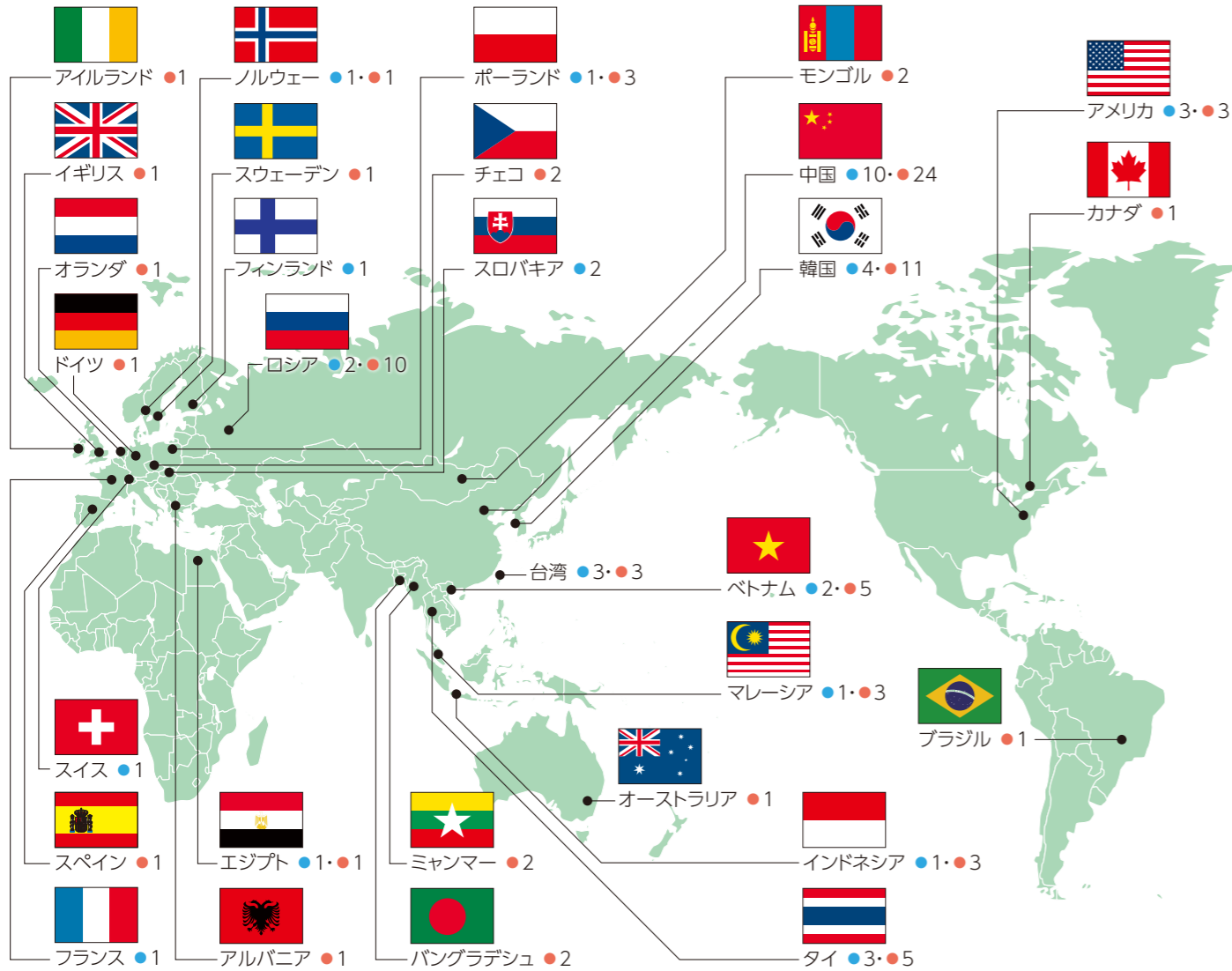


国際交流

国際交流

本学では、海外の大学・研究機関と幅広い国際交流を行っています。現在、16か国・37地域の機関と大学間交流協定を締結し、26か国・90地域の機関と部局間交流協定を締結しており、学生相互の留学や研究者による研究活動を活発に行っています。

●…大学間交流協定
●…部局間交流協定
(平成30年5月1日現在)



外国人留学生

現在アジアを中心に、様々な国から300人を超える留学生が本学で学んでおり、多くの外国人研究者が研究活動を行っています。

(平成30年5月1日現在)

地域名	五福キャンパス	杉谷キャンパス	高岡キャンパス	計
アジア (15か国・地域)	225	54	7	286
ヨーロッパ (4か国)	6	1	1	8
アフリカ (4か国)	1	11		12
中南米 (1か国)	1			1
計24か国・地域	233	66	8	307

海外留学制度

本学では、学術交流協定を結んでいる大学等に最長1年間留学できる交換留学制度があり、毎年20名程度の学生が協定校に留学しています。また、協定校留学のための給付型奨学金制度もあります。このほか夏季、春季休業中には約1か月の短期派遣留学プログラムを実施しています。このプログラムでは語学研修に加え、現地学生との交流や、それぞれのプログラムの特徴でもある実地研修を行っており、毎年多くの学生が参加しています。

●短期派遣留学プログラム

国名	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	ニュージーランド
研修先	チャールストンカレッジ	マーレイ州立大学	ハワイ大学マウイカレッジ	ユニテック・インスティテュート・オブ・テクノロジー
派遣期間	約1か月 (8月下旬~9月下旬)	約1か月 (2月中旬~3月中旬)	約1か月 (3月初旬~4月初旬)	約1か月 (2月下旬~3月下旬)
内容	1. 英語研修 (約4週間) ※滞在は大学の学生寮	1. 英語研修 (約4週間) 2. セントルイスやナッシュビル等近隣都市への小旅行 3. ニューヨーク実地研修 (3泊4日) ※滞在は大学の学生寮	1. 英語研修 (約4週間) 2. ハレアカラ登山、クパ有機栽培農場などへの特別課外授業 ※滞在はホームステイ	1. 英語研修 (約3週間) 2. 富山大学プログラム (参加学生の所属に関連する学部の授業や施設の見学等) ※滞在はホームステイ
主な経費	航空運賃等移動交通費、授業料、宿泊費、保険料、カレッジ内カフェテリア利用料、学生ビザ取得費用他。	航空運賃等移動交通費、授業料、保険料、宿泊費、大学内カフェテリア利用料、学生ビザ取得費用、NY実施研修費用他。	航空運賃等移動交通費、授業料、保険料、特別課外授業料、ホームステイ料金、教科書代他。	航空運賃等移動交通費、授業料、保険料、富山大学プログラム費用、ホームステイ料金他。
募集人数	約15名	約30名	約16名	約25名

海外キャリア研修

本学では、株式会社北陸銀行及び田中精密工業株式会社の支援を受け中国 (大連) 及びタイ (バンコク・ランブーン) への海外キャリア研修を実施しています。

海外で事業展開する日系企業での実務研修・工場視察や現地大学生との交流を通じて、コミュニケーション能力や異文化を理解することの重要性に気づき、グローバル社会で活躍することへの意識向上を図ります。実際に現地へ足を運び、企業がどのような工夫と努力で異文化にとけこんでいるかを学び取ることは学生にとって非常に貴重な経験となります。

大学間交流協定校 オルレアン大学へ留学して

私は富山大学が協定を結んでいるフランスのオルレアン大学で、長期の語学留学を経験しました。大学で専門としてフランス語を専攻していたこともあり、さらなる語学力の向上を目指して留学へ行くことを決意しました。

オルレアン大学には、留学生を対象にフランス語での授業を行っているフランス語学院があり、私はそこで様々な国籍の学生たちと共にフランス語の授業に参加しました。文法、発音、作文の授業から、フランスの地理や歴史や文化を学ぶ授業など、幅広い分野の内容を学ぶことができました。グループワークやクラス全員の前で発表する機会もあり、人前で話す能力を鍛えられました。私の前期のクラスは中国や韓国などアジアの学生が多かったです。年齢が近い学生も多く、よくクラスの友人と外食したりお互いの国の話で盛り上がりつつありました。後期のクラスは、アメリカ、ロシア、メキシコ、ベトナム、コロンビアなど世界各国からの学生が集まった国際色豊かなクラスでした。様々な背景や夢を持ったクラスメイトと会話するのはとても刺激的でした。

また、オルレアン大学には日本語学科があり、日本語を学習しているフランス人学生との交流も盛んでした。日本語とフランス語をお互いに教えあったり、みんなでパーティーをしたりと、今振り返っても楽しく思い出がいっぱいたくさんあります。

留学当初はフランス語が全然聞き取れず、語彙不足から自分の言いたいこともうまく伝えられず悔しい思いをすることが何度もありました。しかし大学での授業や多くの友人たちとの出会いを重ねるにつれて、知っている単語や言い回しの種類も増え、自分とは異なった国籍や宗教や価値観を持った人々とコミュニケーションをとることに楽しさを感じるようになっていました。確かにずっと日本に残っていても、語学力はいくらでも磨くことができます。しかし私は、かけがえのない友人たちとの出会い、お互いに刺激を受けあう経験は、留学へ行ったからこそ得ることができたのだと実感しています。



人文学部人文学科 ヨーロッパ言語コース4年 溝口 穂波

■本学の国際交流・留学に関する情報は、本学ウェブサイトをご覧ください。
トップページ → 「キャンパスライフ」 → 「留学支援」

